

119だより

NANTAN
FIRE DEPARTMENT
2014

No.

3



養父消防署一日消防署長（日光保育園）

災害状況



1月20日現在

- ・火災… 5件
- ・救急… 188件
- ・救助… 4件

主な内容

- 平成25年災害発生状況と初動対応 …… 2-3
- ◆ 一日消防官・一日消防署長
養父市長野で合同訓練 …… 4
 - ◆ 消防出初式
列車事故対応合同訓練 …… 5
 - ◆ 消防写真館・消防白書
初期消火感謝状贈呈 …… 6-7
 - ◆ お知らせ …… 8

平成25年災害発生状況と初動対応



朝来市・養父市両消防本部は昨年4月1日に合併し、南但消防本部として新たな消防・防災活動のスタートを切りました。養父市内からの119番通報がすべて和田山にある消防本部につながるようになったことや、管内面積が広がったことなどから災害への対応に不安を抱いた方もあったことかと思えます。

合併前を含めた一年間の災害発生状況を振り返る中で、合併によって生じた初動対応状況などをみてみたいと思います。

▲天ぷら油火災事例から

一年間の火災発生状況

昨年の火災の発生状況は、朝来消防署管内で23件、養父消防署管内で13件、合計36件でした。

火災種別をみると、建物火災が朝来消防署7件・養父消防署4件の計11件、林野火災が朝来消防署3件・養父消防署2件の計5件、車両火災が朝来消防署2件・養父消防署2件の計4件、その他の火災が朝来消防署11件・養父消防署5件の計16件というような発生状況でした。(図1参照)

建物火災（全焼の原因）

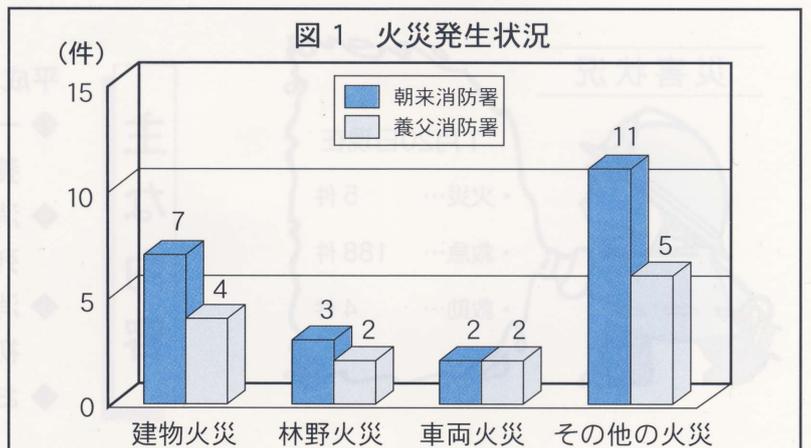
焼却及び暖を取るため薪をオイル缶の中で燃やしながら薪割り作業をしていた人が、食事をとるために火をつけたままその場を離れたため物置（薪小屋）に燃え移り、母屋及び離れに延焼拡大し全焼した火災。

また、作業場内で鋸屑・ちり等をストーブで焼却処分中その場を離れたため、周囲の可燃物が熱を受け延焼拡大し、作業場を全焼した火災。

あるいは、台所のコンロで鍋に入れた肉を加熱中、そのまま寝てしまいい鍋から出火、コンロ周辺に延焼拡大し住宅を全焼した火災。この火災では、当事者が顔面熱傷及び気道熱傷の疑いで救急搬送されています。

合併後は大規模な建物火災や、トンネル等の火災が発生した場合に、朝来消防署、養父消防署がそれぞれ

図1 火災発生状況



の管轄区域を越えて消防隊を増強、災害対応に当たることも可能となりましたが、火災におけるそのような出動はありませんでした。

一年間の救急・救助出動状況

昨年の救急出動状況は、朝来消防署管内では1493件で1345人の搬送、養父消防署管内では1430件で1309人の搬送、管外へは6件の出動で7人の搬送でした。



▲救急救助事故現場

事故種別をみると、急病が朝来消防署では907件で814人の搬送、養父消防署が797件で752人の搬送でした。

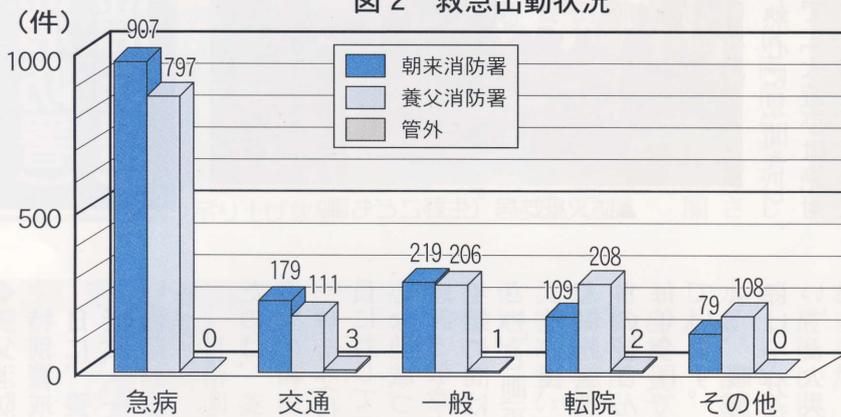
交通事故が朝来消防署では179件で182人の搬送、養父消防署が111件で119人の搬送、管外へは3件の出動で4人の搬送でした。

転倒や転落などの一般負傷が朝来消防署では219件で203人の搬送、養父消防署が206件で194人の搬送、管外へは1件の出動で1人の搬送でした。

医療機関から医療機関への転院搬送が朝来消防署では109件で108人の搬送、養父消防署が208件で208人の搬送、管外へは2件の出動で2人の搬送でした。

労災や運動競技による事故等を含むその他が朝来消防署では79件で38人の搬送、養父消防署が108件で36人の搬送でした。(件数のみ図2

図2 救急出動状況



参照) 増加の一途をたどる救急需要と救命率の向上に対応するために、現在は両消防署合わせて6台の高規格救急車と39人の救急救命士を中心に救急活動を展開しています。

更に、救助出動は75件で、朝来消防署が38件、養父消防署が37件でした。

救助人員は42人で、朝来消防署、養父消防署共に21人でした。

両消防署間の災害対応

救急・救助においても、それぞれの消防署が管轄区域を越えて応援出動できることになっています。

複数の傷病者が発生し、どちらか一方の消防署だけでは対応できない時。また、どちらか一方の消防署の救急車が全車出動中の時、あるいはドクターヘリで到着した医師や看護師を救急現場まで搬送する時などがその対象となります。

その他の活動としては、消防隊によるドクターヘリ離発着時の安全確保のための出動。救急隊だけでは傷病者を搬送できない場合の支援出動等があります。

これらの出動における初動時の災害対応は原則として署所対応とし、今までと大きく変わりありません。しかし合併後のメリットとして、両市の境界付近で発生した災害に対し、素早く応援部隊を投入することによって初動時における現場活動の強化を図ることができます。

また、職員数の増員、管理部門や通信部門で生じた余剰職員の現場活動要員としての配置、出動体制の見直し等により、今までだと不可能であった部隊数の編成が可能となりました。

実際に、朝来消防署から養父消防署への出動が3件、養父消防署から朝来消防署への出動が22件ありました。

そして、養父消防署では救急支援出動が30件も増加しています。

大規模な災害や複数の傷病者が発生した事故などには、合併に伴い消防本部全体の部隊数が増加したこと、管轄区域を越えて現場対応に必要な部隊を迅速に出動させることができるようになりました。

養父市・朝来市両消防本部の合併により、このようなメリットが生まれています。

安全で安心して暮らせる町づくりを目指して

合併2年目を迎える平成26年度は、両消防署員がよりよい交流を図ることにより、お互いが競い合い、消防・防災活動に対する職員一人ひとりの知識や技術を今以上にレベルアップさせます。

そして職員個々の技能の向上はもちろんのこと、各署所からの同時出動や各署所間の協力体制の充実強化など大災害への対応力強化を更に図って行き、消防広域化の大きな効果を生かしながら、これまで以上に住民サービスの向上に努めてまいります。

今後とも、市民の皆様方が安全で安心して暮らせる町づくりを目指し取り組んでいきますので、新しい体制での消防業務へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一日消防官(朝来消防署) 一日消防署長(養父消防署)

◆朝来消防署では火災予防運動期間前の11月8日に、朝来市の女性消防団員4人に「一日消防官」をお願いしました。

一日消防官をお願いしたのは、写真左から小山早希さん、中野優子さん、板高紗也香さん、足立絵美さんです。

消防長から辞令交付を受けた後、生野こども園・中川こども園を訪問し、多くの園児に防火紙芝居を見てもらいました。園児たちは



▲一日消防官と朝来消防署長



▲防火紙芝居(生野こども園)

紙芝居を熱心に見聞きし、大きな声で「火遊びは絶対しません」と約束していました。

短時間でしたがソフトな語りに親近感を持ち、身近に火災予防を感じることができました。

終了後、4人の皆さんに感想を伺うと「初めてで緊張しましたが、質問に大きな声で答えてくれて安心しました。小さなこどもでも火災予防はできると感じました」と大役を終え、ホッとした笑顔で話されました。

◆養父消防署では年末年始特別警戒期間中の12月16日に、養父市の女性保育士に「一日消防署長」をお願いしました。

一日消防署長をお願いしたのは、養父市内の日光保育園の和田彩花さんです。

辞令交付を受けた後、職員に対して「日頃の安全で安心な地域づくりへの努力に感謝と敬意を表します。年末年始に向け一層頑張ってください」と訓示されました。

その後、公立八鹿病院老人保健施設を訪問し、入所者の皆さんに「寒くなると毎年全国各地で多く火災が起きています。火災を出さないよう、暖房器具の取り扱いには十分注意してください」と火災予防を呼びかけました。



▲一日消防署長(公立八鹿病院老人保健施設)

養父市長野で合同訓練

南但消防本部と養父市消防団が
初めての合同火災防御訓練を実施

秋の火災予防運動行事の一環として、11月10日に養父市長野(井ノ坪)で、南但消防本部と養父市消防団養父方面隊が合同火災防御訓練を実施しました。

訓練地域は、この4月の南但消防本部発足に伴い、各署所からの現場到着時間短縮を図るため出動規程を見直し、生野出張所と大屋出張所が同時に出動することになりました。今回の訓練は、南但消防本部発足後初めての、生野出張所と大屋出張所、及び養父方面隊との合同火災防御訓練となりました。



▲合同火災防御訓練

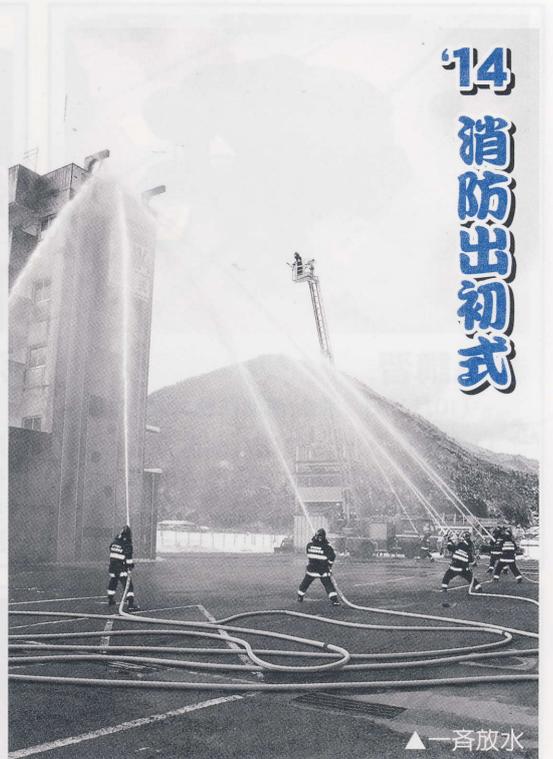


▲訓練終了報告

訓練は、火災現場に先着した両出張所がタンク車の積載水を使用して放水を開始。消防団は、現場に到着後、河川から水を揚水し消防隊に中継送水する分団、ポンプ車から放水をする分団に分かれ消火活動を実施しました。

生野出張所及び大屋出張所、並びに養父方面隊の三機関による合同火災防御訓練でしたが、各機関が緊密に連携し、円滑かつ的確な火災防御訓練が行え、実のある訓練となりました。

14 消防出初式



▲一斉放水

寒波の襲来した1月10日、新たな年のスタートにあたり、南但消防本部として初の消防出初式を当本部で実施しました。

約120人のご来賓や保育園児が見守る中、養父市民・朝来市民が安全で安心して生活ができる地域づくりを目指すともに、職員の上気の高揚を図るためのものでした。

式典では、南但広域行政事務組合の広瀬栄管理（養父市長）の式辞、次いで職員表彰の伝達のこと、ご来賓の皆様方から心温まるご祝辞をいただきました。

次に、消防長が職員に対し訓示を行いました。観閲の部では、車両7台、人員31名が部隊指揮者の号



▲防災ヘリ吊り上げ救出

令により、車両前に整列し、消防車両の赤色灯を点灯させ観閲者により、部隊観閲を受けました。

消防訓練の部では、地震が発生し倒壊した5階建てのビルに要救助者が取り残されているという想定で、訓練がスタートしました。



▲斜め張り込み救出

出初式では職員一同が、関係機関との連携を密にし、地域の皆様方と協働して、災害に強い安全で安心な南但地域づくりを誓いました。

救助隊員により倒壊したビルへ斜めロープや救命索発射銃を使用した張り込みロープが展張され、進入した救助隊員が取り残された要救助者を無事に救出し、救急隊に引き継がれました。

また、兵庫県消防防災航空隊による救出訓練が行われ、航空救助隊員によるラペリング降下の披露に引き続き、要救助者をヘリに吊上げるホイスト救出が行われました。

最後に消防隊が訓練塔の屋上をめぐって9線一斉放水し、訓練を締めくくりました。

列車事故対応合同訓練

11月13日、朝来市和田山町JR和田山駅構内材料線にて、南但消防本部と朝来市消防団、JR西日本、兵庫県朝来警察署、公立八鹿病院、公立朝来和田山医療センターが合同で、列車事故対応合同訓練を実施しました。

今回の訓練は、踏切内での多数傷病者対応となるため、関係機関との連携活動が大きな目的となっていました。

訓練は、播但線第七東裏踏切で列車と乗用車が衝突し乗用車から油類が漏洩し出火の危険があるとの119通報で開始されました。南但消防本部は指揮隊、消防隊、救急隊、及び救助隊を即時出動させるとともに、公立八鹿病院のDMATの派遣要請を行いました。現場に最先着した消防隊は、「列車内に負傷した乗客が多数いる。また、乗用車の乗員は挟まれている」との現場の状況を指揮隊に報告、続いて到着した指揮隊は各部隊に活動内容を指示、救助隊は、乗用車内の2名が挟まれ救出に時間を要する

ため、八鹿病院DMATの救命処置を受けながら、朝来警察署と協力し、油圧破壊器具を使用して救出を実施。また、消防隊は油類の漏洩があり出火の危険があったため警戒筒先を配備。救助隊により救出された乗客は、医師や救急隊により搬送順位が決定され、他の救急隊によって順次搬送されました。消防団は消防隊と共に火災の警戒にあたり、たほか、多数発生した傷病者の搬送も行いました。

今回の訓練のほかにも、まだまだ特殊な災害の発生が危惧されています。消防本部では様々な訓練を実施し、多種多様な災害にいつでも対応できるよう備えています。



▲踏切内事故訓練現場

消防写真館



救急講習

(10月15日 養父市消防団大屋方面隊)

いざという時の的確な対応がとれるようにと、救急講習を受講されました。各団員は心肺蘇生法に熱心に取り組まれました。



消防訓練 (10月2日 旧生野鉦山官舎)

大切な文化財を火災から守ろうと消防訓練が行われました。スタッフの中には消防団員経験者もおられ、通報から消火栓による放水まで流れるような訓練となりました。



消防訓練 (10月29日 広谷幼児センター)

広谷幼児センターで、消防訓練が行われました。園児たちが見守る中、先生たちはしっかりと消火器の使用訓練を実施しました。



避難訓練 (10月18日 やなせ保育園)

地震の後、火災が発生した想定で避難訓練が行われました。園児の皆さんは、地域の区長さん達の協力を得て、無事避難を完了しました。

※件数、搬送人員ともに減少
出動件数は2929件、搬送人員は2661人で前年と比較すると件数で6件、搬送人員で58人とわずかながら減少しています。

救急

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		36 (37)	23 (19)	13 (18)
建物		11	7	4
林野		5	3	2
車両		4	2	2
その他		16	11	5
損害額(千円)		38,753	34,957	3,796

()内は前年同期件数

※件数、損害額ともに減少
火災件数は36件、損害額は3875万3千円で、前年と比較すると、件数は1件の減少、損害額は1億534万5千円減少しています。

火災

消防白書

平成25年
1月～12月

種別	署別	総数	朝来署	養父署
総数		75 (62)	38 (27)	37 (35)
交通事故		47	28	19
機械		1	1	—
その他		27	9	18

()内は前年同期件数

※42人を救助
出動件数は75件で、その内救助活動を行ったのは38件で、42人を救助しました。

救助

種別	署別	総数	朝来署	養父署	管外
総数		2,929 (2,935)	1,493 (1,480)	1,430 (1,453)	6 (2)
急病		1,704	907	797	—
交通事故		293	179	111	3
一般負傷		426	219	206	1
転院搬送		319	109	208	2
その他		187	79	108	—

()内は前年同期件数



避難訓練

(11月21日 生野こども園・小学校)

東日本大震災を教訓に高学年の児童が園児の手をつなぎながら避難しました。



消防教室

(11月17日 朝来平野区)

朝来平野区で消防教室が行われました。消火器や消火栓を使用した訓練に皆さん積極的に参加されました。



避難訓練

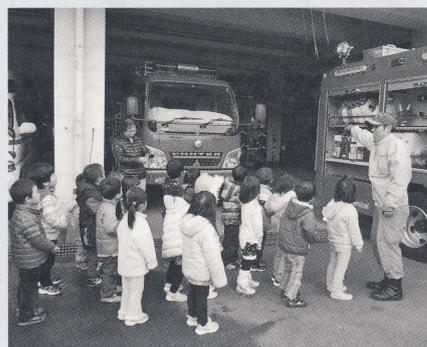
(11月4日 緑風の郷・一品区)

緑風の郷と一品区が合同で避難訓練を実施しました。今回の訓練は初めての試みでしたが、施設と区が連携を深めるよい訓練となりました。



防火餅つき (11月・12月 養父市幼少年防火クラブ)

養父市内4か所の幼少年防火クラブの皆さんが、楽しみにしている防火餅つきが行われました。地域の皆さんや養父消防署員と一緒に、火の用心の話をしながら一生懸命お餅をつきました。できあがったお餅は、みんなでおいしく頂きました。



庁舎見学

(11月26日 出合幼児センター)

救助隊員の説明を熱心に聞いてくれているのは、未来の消防士たちです!!



▲感謝状の贈呈

建物火災を発見し、連携して初期消火と119番通報を行い、火災による被害を最小限に食い止めた田村久美さん、荒川直子さん、松本博文さんの3人に、12月18日、南但消防本部で朝来消防署長から感謝状と記念品が贈呈されました。(松本氏、欠席)

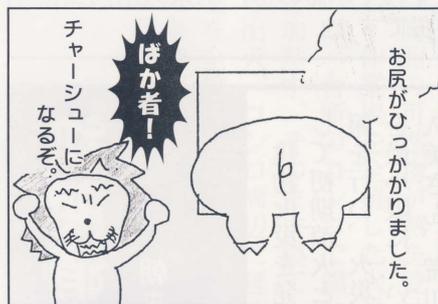
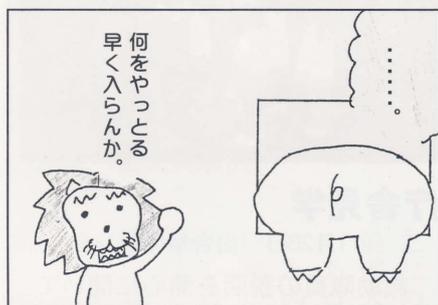
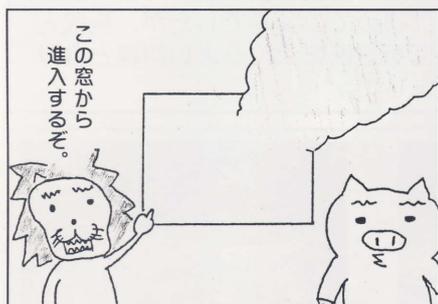


▲写真左から荒川直子さん、田村久美さん

11月15日午後3時頃、朝来市岩津で建物軒先から煙が出ていたのを田村久美さんが発見し、付近で作業していた松本博文さんに異常を知らせ、119番通報を依頼。この度の事例のように、いざという時に付近住民等が機転を利かし勇気を持って助け合う力が、災害時の被害軽減に大きく役立ちます。連携のとれた活動によって、火災の拡大を未然に防ぐことができました。3人の勇気ある行動に、大変感謝しています。

初期消火の3人に感謝状
朝来市岩津の建物火災で
付近住民等が連携し、延焼を防ぐ!

森の消防署



NANTAN 119だより

NANTAN 119だより第3号

2014年2月1日発行 (年3回発行)

- 発行・編集 南但消防本部予防課 兵庫県朝来市 和田山町牧田436-1
- TEL 079-672-0119
- FAX 079-672-5046

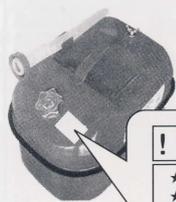
南但消防本部

INFORMATION

お知らせ

◆ガソリン携行缶の取扱い

ガソリン携行缶の取扱いを誤ると、ガソリンが噴出して大きな被害を生じる可能性があります。このため既に販売済みの携行缶本体等に注意表示シールを貼付し注意喚起することになりました。(左写真参照)



! 噴出注意!

- ★周囲の安全を確認
 - ★フタを開ける前に
 - ①エンジン停止
 - ②エア抜きをする
 - ★高温の場所禁止
- (一財)全国危険物安全協会

◆車両更新 指揮車



▲指揮車

今回配備された指揮車は、4WDのターボ付き軽自動車でも対応することが可能です。なお、指揮車は11月18日から大屋出張所にて運用開始しています。

●高規格救急自動車



▲高規格救急自動車

今回、国から災害対応特殊救急自動車として補助金を受け更新された救急車は、4WDで但馬地域特有の積雪等の悪路にも十分力を発揮します。又、積載している救急資機材は、患者監視装置、人工呼吸器、自動心臓マッサージ器及び除細動器等を備え、あらゆる救急に対応が可能です。なお、救急車は12月24日から養父消防署にて運用開始しています。

◆山火事防止運動

消防署並びに消防団では、4月の一ヶ月間、山火事防止運動を展開します。

◆春の火災予防運動

3月1日から3月7日までの7日間、全国一斉に春の火災予防運動を実施します。

『消すまでは心の警報 ONのまま』
3月1日～3月7日

主な行事予定

- 消防訓練 (養)関宮地区 病院・危険物施設の査察
- 立入検査等 学校・事務所、各地区
- 消防教室 防火ポスターの配布
- 広報活動 病院・福祉施設
- 防火研修



編集手帳

秋の夜、寒くなったので早く寝た。真夜中「ビッ」…「ビッ」の音で目が覚めた。うるさいな、また鹿が田んぼに現れ鳴いている。外で電灯を灯し追い払うかと思つたが、寒いのでそのまま朝を迎えた。まだ定期的に音が聞こえていた。朝一番、家人が台所で「上の部屋で何か音がするぞ」私は「えー、鹿の鳴き声ちゃうんか」と言いながら、音の聞こえる空き部屋に駆け付けた。その音の原因は、住宅火災警報器の電池切れ警報音でした。翌日電池交換の依頼をしました。

皆さんも、定期的に感知器の本体表面にホコリや蜘蛛の巣などが付いていると、煙を感知しにくくなります。いざという時、住宅火災警報器が作動するように、定期的なお手入れをしましょう。